



『海の月間』について

～海への理解を深めていただくための
取り組みを行いました～



船内の点検・
巡視風景

7月13日、那覇〜渡名喜〜久米島航路の運航する「フェリー琉球」の一日船長として、那覇観光キャンペーンレディーの平安山 麗那（へんさん れいな）さんを任命し、船内の点検・巡視を行いました。平安山さんは、「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも安全航海に努めていただき、明日を担うシーマンとして頑張ってください。」と、船員や関係者に向けて激励のメッセージを送りました。

2015那覇観光キャンペーン レディーによる二日船長

四方を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。「海の日は、このような海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むことを目的に平成8年に制定され、今年は20回目の節目の年となります。この「海の日の意義を広く理解していただくため、7月を『海の月間』とし、全国各地において多彩な行事が展開されました。当局においても「2015那覇観光キャンペーンレディーによる二日船長」「海事関係功労者表彰式」及び「中学生海の絵画コンクール沖縄地区入選作品及び帆船模型の展示」を行いました。

海事関係功労者表彰式



受賞者全員にて記念撮影

7月24日に那覇市内のホテルで開催し、港湾関係事業、優良船員等21名を表彰しました。また、同式典において「中学生海の絵画コンクール」沖縄地区の受賞者への表彰も行い、沖縄総合事務局長賞（金賞）受賞の藤田 サスケ（ふじた さすけ）さんをはじめ、10名の中学生を表彰しました。

中学生海の絵画コンクール沖縄地区 入選作品及び帆船模型の展示

8月4日から11日にかけて、当局1階行政情報プラザにおいて、「中学生海の絵画コンクール」沖縄地区の入選作品（32作品）及び帆船模型（21作品）の展示を行いました。

会場には、ご来庁者をはじめ多くの方が訪れ、「海」をテーマに中学生が描いた力作を眺めたり、「タイタニック」のほか、愛好家の皆様が見て感心する光景が見られました。



展示の様子